

うし

大人の旅立ちを悼む

令和壬寅年初秋（二〇二二・八・十七）

田邊誓司



ぬばたまの夜を明かすべく夢見しかなれ汝は命の尽きてみまかる

欠落は海ほど深し凡夫なるわれさへすべきこと見失ふ

論拠なきそしりを常に身に浴みてかまびすしけん汝は耐えたり

みまかりしことを今なほ信じ得ず国の未来をみちびきし汝

断たれたる意志はそのまま遺志となりつつましけれど我ら受け継ぐ

いはれなき誹謗はつひに極まりきいつはる者が和平を叫ぶ

うるはしのまほろばはしか確きたと来るべしなれの唱へし遺志は滅びず

わが国の歴史と文化をたふとびしなれこそ真の礎いしたらん